



福小だより

【目指す子ども像】
自分を大切にする子
いろいろな考えがあることを認める子
自分で決めることができる子
決めたことをやりとげる子

学校教育目標「自分や他者を理解し受け入れ、相互協力しながら、問題を建設的に解決できる力の育成」

多様性に配慮し、均質化（みんな同じ）に偏らない 学校づくりを

～みんなちがって みんないい（金子みすゞ 私と小鳥とすずと）～

校長 平石 仁恵

先日、今年度の1回目のいじめアンケートを全校児童に行いました。アンケートでは、「嫌な思いをした」「悲しい気持ちになった」と素直に記載してくれました。アンケート結果で嫌な思いをしている子どもの中には、実際に自分ではありませんが、嫌な思いをしているはずと友達の名前を挙げてくれた子もいました。自分や友達のこと、「外（大人）」にSOSを出すことができる子どもがいて、安心しました。

さて、2050年（今の子ども達が大人になるころ）には、外国人の人口の割合も10%との推計もあります。また、生産年齢（働いて税金を納める人）人口が、全体の約5割になっています。（1.4人で1人の高齢者を支える肩車社会）人口減少が進み、少子高齢化の世の中が加速しています。そのため、令和3年に文部科学省から「令和の日本型学校教育」という学校教育が目指す新しいビジョンが示されました。その本質は、これまでの「みんな同じ」を目指す一斉指導の良さを活かしつつも、その限界（行き過ぎた同調圧力や不登校の増加など）を克服し、「すべての子供たちの可能性を引き出す」教育への転換です。



「みんな一緒」「全員で同じ目標に向かう」ということを強調しすぎると、集団の同調圧力が跳ね上がり、その結果「周囲と違う異質な存在」や「集団のペースを乱す存在」を排除しようとする心理が働き、いじめを発生させる土壌になります。そのため、

- 異なる考えや意見を安心して出し合える自由な雰囲気や教室を確保すること。
- 「いろいろな人がいた方がよい」と思える価値観を育成すること。
- 違いを否定的に捉えるのではなく、「多様な他者がいるからこそ良い」と思える共生感覚を養うこと。

が、いじめの根本的な未然防止（発達支持的生徒指導）となります。本校でも、全教職員がこのことを認識し、子ども達を指導しています。（福島小学校の今年度の福島ビジョン2026において、4つの項目を設定しています。その中の『より良い人間関係の醸成』の1番目に、この発達支持的生徒指導をあげています。）

今、サッカーのワールドカップで、日本代表が活躍しています。今回このチームでは、「心理的安全性の担保」「主体的（ボトムアップ型）な対話」「言葉によるゴールの明確な共有」を軸とした先進的なチーム作りを行っているそうです。まさに上記（枠で示した）のことが土台にあるのだと思います。また、お互いをリスペクトした上で、勝利のために言うべきことを言葉にしてぶつけ合える関係性は、多様性を否定していません。（〇〇のためにと目的があります）



単に、空気を読んで周りに合わせるのではなく、「自分と他人の意見は違って当たり前。その上で、どうやって一緒に課題を解決するか」という民主的なコミュニケーション能力（市民性：シチズンシップ）を育成し、「一人ひとり違って良い」という連帯を福島小学校で実感できるような学校でありたいと思います。



修学旅行に行ってきました

6月17日(水)・18日(木)の2日間、6年生が吉岡小学校と合同で、青森方面へ修学旅行に行ってきました。

1日目は、ワ・ラッセ、八甲田丸、アスパムを見学し、青森の歴史や文化、産業について学びました。ホテルでは、友達と楽しい時間を過ごし、思い出に残る一夜となりました。2日目は、浅虫水族館や三内丸山遺跡を見学し、海の生き物や縄文時代の暮らしについて理解を深めました。

見学先では、話をよく聞き、時間や約束をしっかり守って行動する姿が見られ、現地の方からも「たいへん立派な子どもたちですね」とお褒めの言葉をいただきました。学校の代表として、一人一人が責任をもって行動する姿は、とても頼もしく感じられました。

この2日間で、仲間と協力することの大切さや公共の場でのマナーなど、多くのことを学ぶことができました。修学旅行で得た経験を、これからの学校生活や日々の生活の中でも生かし、さらに成長してくれることを期待しています。



「相撲に親しむ教室」が開かれました

はじめに、けがを防ぐための柔軟体操を行い、その後、相撲の基本となる四股の踏み方や構え方などを学びました。最後には実際に相手と組み合う実践にも挑戦し、子どもたちは力いっぱい取り組んでいました。

相撲を通して、体を動かす楽しさや礼儀の大切さを学ぶとともに、福島町が誇る相撲文化に親しむ貴重な機会となりました。笑顔と歓声があふれる、充実した時間となりました。



教職員研修を実施しました

教職員を対象とした救命講習を実施しました。

当日は、消防署の方を講師にお迎えし、主にAEDの使用方法について、実技を交えながら学びました。万が一の事態に備え、教職員一人一人が迅速かつ適切に対応できるよう、集中して講習に取り組みました。

子どもたちが安心・安全に学校生活を送ることができるよう、今後も安全管理の徹底と教職員の資質向上に努めてまいります。



【7月行事予定】

日	曜日	主な行事	日	曜日	主な行事
1	水	水泳学習(5・6年生5.6時間目)・1年生4時間授業	14	火	個人懇談②・水泳学習(1・2年生3.4時間目)・4年生ごみ処理場見学
2	木	水泳学習(3・4年生5.6時間目)	15	水	個人懇談③・水泳学習(3・4年生3.4時間目)
3	金	学習参観・PTA総会	16	木	個人懇談④・水泳学習(5・6年生3.4時間目)
6	月	1年生4時間授業(～24日まで)・全校集会	17	金	水泳学習(1・2年生3.4時間目)・2・3年生4時間授業・週末読書・4年生ほくでん電気教室
7	火	2年生5時間授業・ブックフェスティバル・スクールカウンセラー来校	21	火	2年生4時間授業・3年生5時間授業
8	水	水泳学習(5・6年生5.6時間目)	22	水	2～4年生4時間授業・学級文庫交換・靴箱清掃
9	木	2年生4時間授業・水泳学習(1・2年生3.4時間目)・3・4年生5.6時間目)	23	木	2年生4時間授業・3年生5時間授業・2年生給食試食会&学級レク
10	金	委員会・4年生横綱ビーチ清掃(1.2時間目)	24	金	1学期終業式・4時間授業
13	月	個人懇談①・図書目録贈呈式	27～29日		教職員研修(保育所実習)

福島小学校ホームページ
随時更新しております。



ポイ捨てゼロのきれいな福島町に

以前、新緑公園にお菓子のゴミが捨てられているというお話がありました。小学生とは限りませんが、子どもも大人もみんなできれいは福島町にしていけると良いですね。